グローバル情報技術で笑顔を創る
株式会社 SYSホールディングス

JPX
東証JASDAQ上場
証券コード：3988

INVESTORS' GUIDE

The 8th Period

第８期　株主通信

2020年8月1日>2021年7月31日

ごあいさつ

デルタ株などの新型コロナウイルスが猛威を振るう中、欧米と中国との経済的亀裂が深まり、アフガニスタンからの米軍撤退で世界的な宗教的対立に発展する様相を呈し、世界経済はますます混迷を極めております。このような中、第8期は、「重く厳しい足踏み」と銘打ち厳しい経営状況を予測しましたが、結果は売上高62億96百万円、営業利益3億81百万円と何れも過去最高、3期連続の増収増益を果たす事が出来ました。これは、株式上場以来、より付加価値の高い情報サービスを担えるよう、最大限に人材投資とM&Aを行ってきた事が、既存事業の着実な成長に繋がりました。

これもひとえに、株主の皆様始め、携わった全ての皆様のご愛顧、ご支援によるものと厚く御礼申し上げます。

第9期は、売上高70億円、営業利益4億20百万円と4期連続の増収増益を予想しております。前期の慎重な計画から一転して、コロナ禍においても、DX（デジタルトランスフォーメーション）による情報システム需要は着実に高まっている事から、売上高で前期比7億3百万円・11.2%と成長を加速してまいります。しかし、営業利益率に関しては前期6.1%から6.0%に落ちる予想をしております。これは、情報システム需要の高まりは技術者の激しい争奪戦を招いており、情報サービス産業のみに留まらず全産業が技術者を自社で雇用する動きが広がっているためであります。この様な状況に対応するため、採用と育成に対する人材投資を一層に高め、6%の待遇改善を行い技術者の定着性を高め、積極的なM&Aで幅広い技術とサービスを獲得していく所存でございます。

DXに加え、脱炭素社会(カーボンニュートラル)の実現に向けた取り組み等で、中長期的にも情報システム需要は高まると予想しております。更なる成長を目指し、一歩ずつ着実に進んでまいりますので、より一層のご愛顧、ご支援を賜りますよう、深くお願い申し上げます。

代表取締役　会長兼社長　藤本哲司

事業の概況 Business Highlight

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響等により、大きく減退したものの、企業業績は一部業種を除き持ち直しの傾向にあり、ワクチン接種が進むこと等により今後の景気回復が期待されています。しかし、感染の再拡大により依然として日本経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業においては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2021年6月分確報」の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比1.0%増と3か月連続の増加、「受注ソフトウェア」は、同2.9%増と3か月連続の増加となりました。

このような経済状況のなか当社グループは、新型コロナウイルスの流行に対応し、テレワークの実施やリモート会議の活用等により事業の継続に努め、一部プロジェクトの延期や遅延による受注の減少に対して、新規受注の獲得や、顧客からの信頼を獲得し、リスクが低く安定した収益が期待できるリピートオーダーの提案・受注に努めました。また、当初は、顧客のソフトウェア投資の抑制に伴う受注の減少による待機工数の増加に備え採用の抑制を行いましたが、一部顧客を除き受注が堅調に推移したことや、新規開拓等による受注の増加に対応するため、採用の抑制を中止し、受注の増加に備えました。

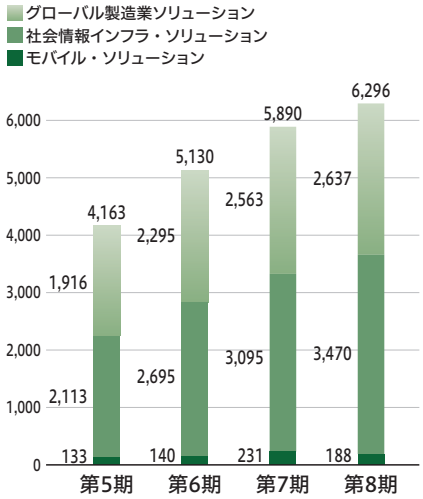
それらの結果、当初新規採用を抑制したこと等により受注が伸び悩んだものの、社会情報インフラ・ソリューションの顧客からの受注が堅調に推移したことや新規開拓、M&Aによる新規連結子会社の増加等が売上高増加の要因になりました。

また、売上高の増加に伴う利益の増加やオンライン研修やオンライン・ツールの活用等により移動コスト等が減少したことが営業利益増加の要因になり、投資有価証券の売却益を計上したことにより税金等調整前当期純利益が増加しました。

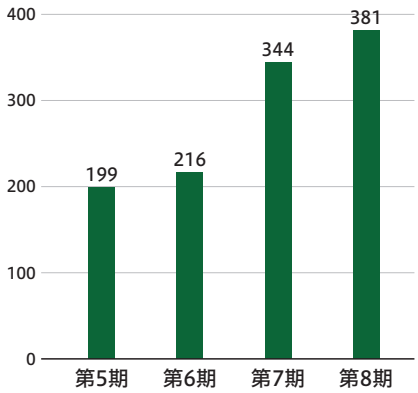
以上の要因により、当連結会計年度における連結業績は、売上高6,296,857千円(前期比6.9%増)、営業利益381,653千円(前期比10.8%増)、経常利益397,676千円(前期比16.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益276,554千円(前期比25.1%増)となりました。

業績ハイライト Financial Highlight

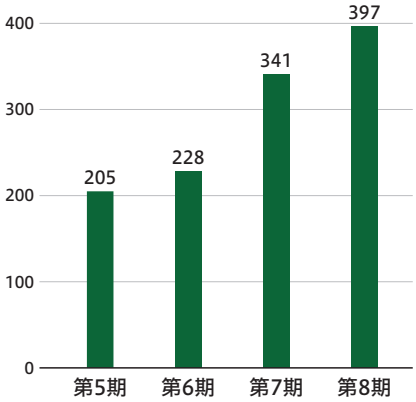
売上高 (単位：百万円)



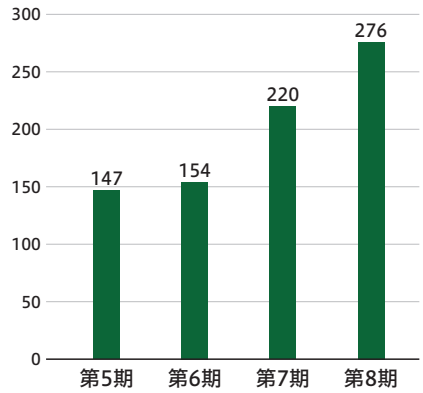
営業利益 (単位：百万円)



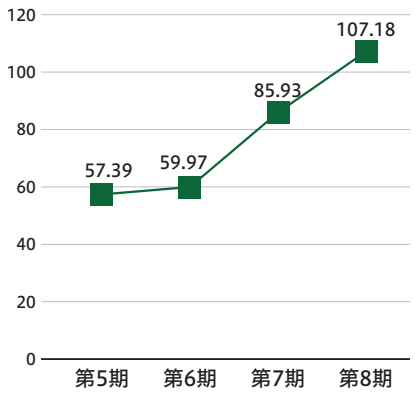
経常利益 (単位：百万円)



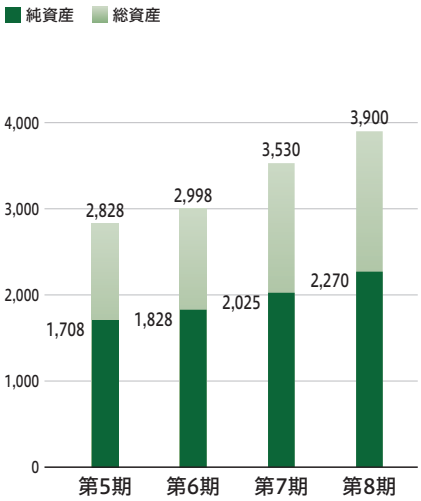
親会社株主に帰属する当期純利益(単位:百万円)



一株当たり当期純利益(単位:円)



純資産/総資産(単位:百万円)



※当社は、2018年2月1日に1株につき2株の株式分割を行っております。上記「一株当たり当期純利益」のグラフでは、第5期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出した場合の数値を表記しております。
※記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

第9期の見通し　Forecast

わが国経済は、国内外の新型コロナウイルスの流行により、個人消費が低迷する等、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループが属する情報サービス産業については、新型コロナウイルスの流行による個人消費の減少で企業の業績が悪化し、新規ソフトウェア投資の見直しが行われるリスクはありますが、企業の競争力維持の為のソフトウェア投資は引き続き一定の需要があるものと思われます。定常化しているＩＴ技術者の人材不足については、ソフトウェア投資の減少により、一時的に人材不足が解消する可能性はありますが、長期的には人材不足が継続する見通しです。

このような状況のもと、当社グループは、テレワークの実施やリモート会議の活用、従業員の毎朝の検温等により感染症対策を行うことで事業の継続に努め、引き続き一定の需要が見込まれる顧客からの受注を進める一方、受注時のリスク見極めの強化や見積精度の向上、各現場での生産性の向上による収益性の向上に努める方針です。また、従業員の待遇改善や当社グループ製品であるSYS ERP Cloudの販売促進による費用の増加を見込んでおります。また、情報システム投資による業務効率の向上は引き続き継続し、M＆Aは積極的に推進する方針です。

2022年７月期の連結業績につきましては、売上高7,000百万円（当連結会計年度比11.2％増）、営業利益420百万円（当連結会計年度比10.0％増）、経常利益422百万円（当連結会計年度比6.3％増）、親会社株主に帰属する当期純利益271百万円（当連結会計年度比1.7％減）と予想しております。

トピックス　Topics

エスワイシステム創立30周年

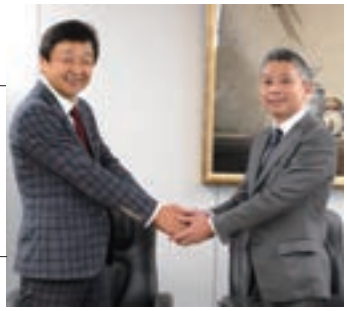
2021年1月9日をもちまして、皆様方のおかげで株式会社エスワイシステムは創立30周年を迎えました。

M&Aの実績

株式会社レゾナント･コミュニケーションズ 2021年5月6日全株式を取得し、子会社化。

Resonant Communications

■設　　立／2009年7月
■所 在 地／東京都立川市
■事業内容／業務アウトソーシング等の委託請負、情報システムの開発･販売･運用
■従業員数／18名（2021年4月末時点）



右：㈱レゾナント･コミュニケーションズ
代表取締役　白濵　和俊

付帯業務を確実にこなすアウトソース
レゾコムの豊富なプロジェクト経験とIT技術でサポートいたします。

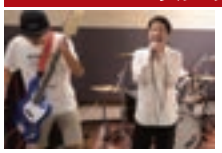
Excelやアクセス、紙台帳などの既存の定型業務をセミオーダーでWebアプリに仕立てます

BPO事業との相乗効果

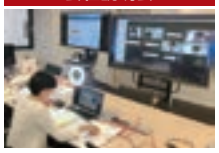
オンラインでの研修･懇親会･採用活動の定着

オンライン形式の研修･懇親会･採用活動が定着し、全社規模の会議等も実施しています。

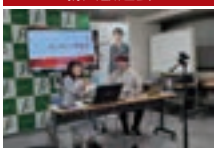
グループ懇親会



会社説明会



新人歓迎会



- 全体会議
- ライン別会議
- 各階層別社員研修
- 会社説明会･採用活動
- 新人歓迎会
- グループ懇親会

新卒･中途新入社員、2～3年目社員、中堅社員、管理者･リーダー等、各階層向けの研修を従来と変わらない水準で実施しています。

日本赤十字社へ寄付

新型コロナウイルス感染症への対応にあたる医療従事者の皆様および医療現場への支援ならびに感染症拡大防止に貢献するため、昨年同様に「日本赤十字社」へ寄付いたしました。

■SYSホールディングスグループ企業理念

PRINCIPLE
五方正義

SERVICE
顧客満足を実現する総合情報サービスの提供

EFFICIENT
高品質･高付加価値の追求

CHALLENGE
世界視野での斬新な挑戦

RESPONSIBILITY
業界･地域･社会貢献

2020年の寄付金に対し、感謝状を授与されました。

今後も企業の社会的責任を果たしていきたいと思います。

SYS ERP Cloud 販売計画

SYS ERP Cloud

補助金最大 450万円
経済産業省 所管 中小機構 支援事業
IT導入補助金2021 対象ツール

- 営業支援システム
- 原価管理システム･販売管理システム ⇔ 各種会計システム
- 勤怠管理システム ⇔ 各種給与システム
- 給与PDF送信
- 人事管理システム連携機能 ⇔ 人事管理システム

《外部システム》

プロジェクト･工事単位の収益を明確にすることで企業は伸びる

※決算書作成には他システムとの連携が必要です。

ヒアリング仕様確認 → データ登録 アドオン開発 → 操作説明 導入支援 → 運用開始

受注実績2社　今期販売計画9社　派遣業･IT企業にも販路拡大

会社概要及び株式の状況

Corporate Profile & Stock Information

会社概要（2021年7月31日現在）

会社名	株式会社SYSホールディングス
英訳名	SYS Holdings Co.,Ltd.
所在地	愛知県名古屋市東区代官町35番16号
設立	2013（平成25）年8月1日
資本金	367,302千円
従業員数	912名（グループ含む）
連結子会社	㈱エスワイシステム ㈱SYI ㈱エス・ケイ ㈱総合システムリサーチ ㈱グローバル・インフォメーション・テクノロジー ㈱テクノフュージョン ㈱オルグ サイバーネックス㈱ ㈱レゾナント・コミュニケーションズ PT.SYS INDONESIA

役員（2021年10月28日現在）

代表取締役会長兼社長	鈴木　裕紀
取締役専務執行役員	後藤　大祐
取締役	一柳　泰行
取締役	玉本　真也
取締役	藤井　敏夫
常勤監査役	堀江　克由
監査役	森戸　尉之
監査役	深井　貴伸

（注）1.取締役藤井敏夫氏は社外取締役であります。
2.監査役森戸尉之氏及び深井貴伸氏は社外監査役であります。

株式の状況（2021年7月31日現在）

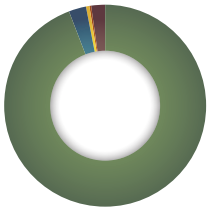
発行可能株式総数	8,000,000株
発行済株式の総数	2,584,924株
株主数	1,126名

大株主（2021年7月31日現在）

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
鈴木　裕紀	1,288,076	49.83
安田　鉄也	360,350	13.94
SYSHDグループ従業員持株会	164,300	6.35
和田　享	42,400	1.64
楽天証券株式会社	26,300	1.01
長崎　純一	26,000	1.00
瀬戸信用金庫	20,400	0.78
株式会社三井住友銀行	20,000	0.77
株式会社百五銀行	20,000	0.77
冨安　理之	13,100	0.50

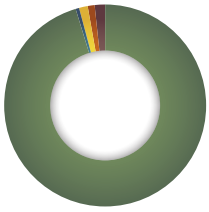
株式分布状況（2021年7月31日現在）

株式数構成比



個人・その他	2,438,210株	94.32%
金融機関	73,000株	2.82%
その他国内法人	9,201株	0.35%
外国人	10,600株	0.41%
金融商品取引業者	53,913株	2.08%

株主数構成比



個人・その他	1,075名	95.47%
金融機関	5名	0.44%
その他国内法人	17名	1.50%
外国人	12名	1.06%
金融商品取引業者	17名	1.50%

株主メモ

Information for Shareholders

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
基準日	定時株主総会　7月31日 期末配当　7月31日 中間配当　1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード）
公告方法	電子公告 アドレス：https://www.syshd.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

お問い合わせ先　**株式会社SYSホールディングス**
〒461-0002　愛知県名古屋市東区代官町35番16号 第一富士ビル2F
TEL. 052-937-0209　FAX. 052-937-0223　URL https://www.syshd.co.jp/

UD FONT
VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915